

な島ができました。そして…

火山によってできた4つの小島が、海の作用
姫島特有の地形や地質の上に成り立ってきた
「オパーク」のジオストーリーをご紹介します。



0m 200m 400m 600m

現在の姫島の暮らし

文化の流入

達

⑨地形を利用した生業の展開

⑦集落の発達

砂州の形成

解説は同じ番号
んところを見てな。

姫島の
できごと



海と地形が生み出した特産品

瀬戸内海は日本でも干満の差が大きい海域のひとつとして知られており、周防灘では最大 3.5m に達します。姫島の海は、遠浅の地形に加え、干満差が大きい
ため、干潮時に磯や干潟が広範囲に露出します。

姫島車えび

江戸時代、干満の差を利用して海水を引き入れて塩を作る入浜式塩田が開発され、昭和 34 年に塩田が廃止されるまで、製塩業は姫島の主要産業でした。昭和 38 年、塩田跡地を活用して車えびの養殖がはじめられ、現在では「姫島車えび」として日本有数のブランドになっています。



⑨地形を利用した生業の展開

おいしいもんが食べらるんのは、姫島の地形のおかげや。

姫島ひじき

干満差が大きく火山岩のゴロゴロした磯はひじきなど海藻類の生育に適しています。「姫島ひじき」は姫島の特産品となっています。



【お問い合わせ】

おおいた姫島ジオパーク拠点施設
時と自然の希跡ジオパーク 天一根
〒872-1501 大分県東国東郡姫島村 1671-1
☎(0978) 87-2266
<https://www.himeshima.jp>

火山が生み出した神秘の島 おおいた姫島ジオパーク



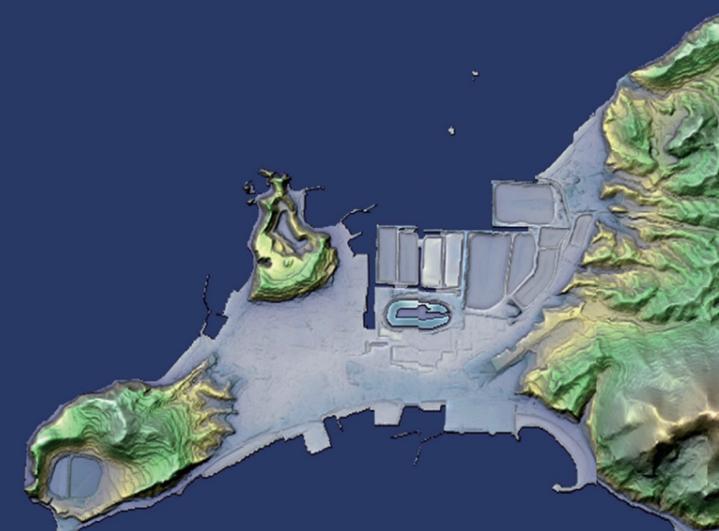
国選択無形民俗文化財
「姫島の盆踊」

鎌倉時代の念仏踊りから派生したといわれ、姫島の7つの地区それぞれに趣向を凝らした様々な踊りがあります。「キツネ踊り」に代表される「伝統踊り」は毎年踊り継がれています。



むか〜し昔、あるところに小さ

姫島は、約30万年前から活動した7つの
により砂州で繋がって一つになった島です。
歴史・文化・産業・生態系など、「おおいた姫島ジ



外部からの影響

⑩

⑧海上交通の発

⑥人の移入

④潮流の発生

⑤

②瀬戸内海の誕生

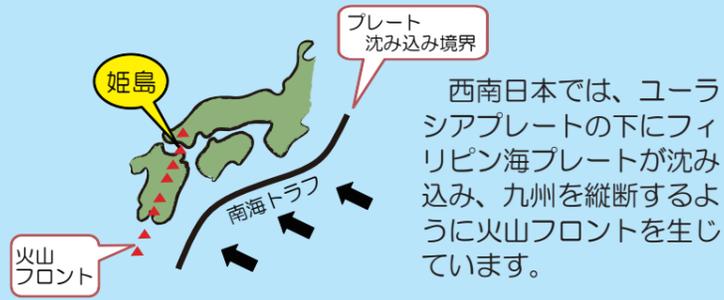
③4つの島

①火山の活動

火山活動と大地の変動



プレートの沈み込みにより、地下でマグマが生成され、火山が発生します。



西南日本では、ユーラシアプレートの下にフィリピン海プレートが沈み込み、九州を縦断するように火山フロントを生じています。



姫島には、7つの火山があります。30万年前以降のそれぞれ異なる時期に一度だけ活動した単成火山です。

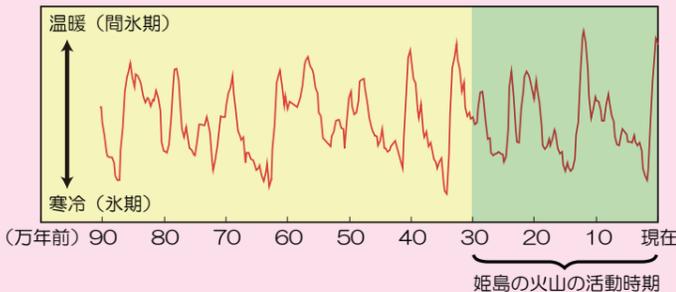
①火山の活動

地球規模の大地の動きが姫島の火山を生み出したんやな。



気候変動と姫島の火山

約260万年前以降、地球は温暖な時期（間氷期）と寒冷な時期（氷期）を繰り返しています。気候変動に伴って地球の平均海面も変動するため、瀬戸内海は陸になったり海や湖になったりを繰り返していました。



姫島の7つの火山は、30万年前からそれぞれ異なる時期に活動しているため、水との反応の違いにより様々な地形が作られました。



火山が様々な地形を作りだしました。マグマの上昇に伴って隆起した200～60万年前頃までの地層には、断層や褶曲などの変形がみられ、ソウなどの化石も地表に現れました。

地球と太陽の運動が気候と海面を変動させて姫島のいろんな火山地形を作ったんやち。

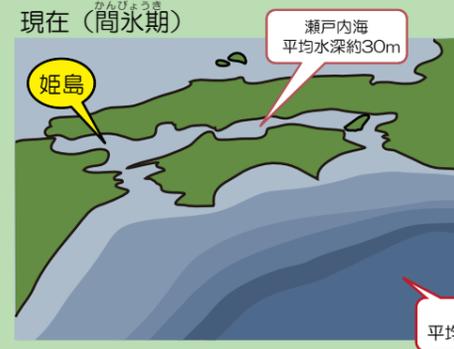


姫島を形作った海的作用

瀬戸内海の潮流や潮汐が、姫島の地形を作り、姫島の歴史や文化を育みました。瀬戸内海の潮流や潮汐はどのようにして生まれたのでしょうか。



約2万年前には、瀬戸内海は陸地で、姫島周辺には川や湖などがあったと考えられています。その後、海面が上昇し、姫島は海に囲まれた島になりました。



瀬戸内海は、平均水深約30mの、閉ざされた海域です。太平洋の潮汐の影響を受け、瀬戸内海には強い潮流と大きな干満差が生まれます。

②瀬戸内海の誕生

④潮流の発生

およーい、潮汐を生み出す月の引力はすごいなあ。

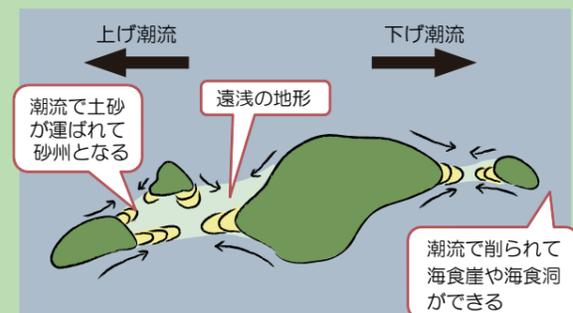


③4つの島

⑤砂州の形成



潮流が姫島の地形を作ったんやな。



約6000年前には、現在よりも数mほど海面が高く、激しい潮流がぶつかる場所は削られ、潮流の緩やかな部分には土砂が堆積して砂州を形成し、4つの小島が砂州でつながり現在の地形ができあがりました。

姫島の7つの地区



現在では、集落ごとに港が作られ、7つの地区に分かれています。

旧石器時代以降、石器の材料となる黒曜石を求めて、人がやってきました。縄文時代の終わりに海面が下がり、砂州が離水すると、その上に人が住み始め、集落が作られていきました。島内から、縄文、弥生時代の遺跡が見つかっています。

⑥人の移入

⑦集落の発達

「日本書紀」によると、姫島の名前の由来になったお姫様は、朝鮮半島から渡ってきたらしいで。



瀬戸内海航路と姫島

瀬戸内海に突き出すような位置にある姫島は、関門海峡に近く、瀬戸内海航路を通る船が必ず通過する場所にあり、海上交通の要所として知られています。

帆船が主流であった時代には風や潮流に合わせて通航する必要があったため、風待ち、潮待ちのため、北前船などの多くの船が姫島に立ち寄りしました。古くから瀬戸内海航路に開けた島として賑わい、姫島の歴史や文化が育まれました。



姫島周辺の航路（赤い線）

⑧海上交通の発達

⑩文化の流入

昔は島の北側に主要港があったらしいで。船客相手の商売で賑わったんやろな～



瀬戸内海航路と国生み神話

瀬戸内海は、陸地に囲まれた内海で、穏やかであること、多くの島々があることから、古くから航路として使われてきました。「姫島の黒曜石」は、瀬戸内海沿岸の縄文時代を中心とした遺跡から発見されており、瀬戸内海を丸木舟で渡って交易が行われていたと考えられています。

「古事記」の国生み神話には、当時の航海上の重要な拠点や石器材料の産地として知られる島々が登場します。姫島もそのうちのひとつで、国生み神話では12番目に生まれた「女島」として登場します。

